



Derababu Island Project 2017

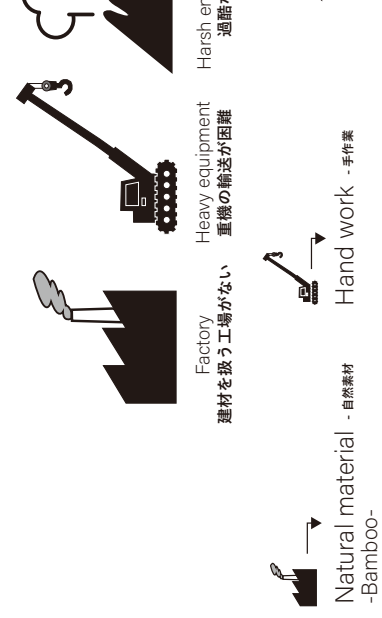
bamboo concrete shell No.2 - 新たな設計手法の提案 -

プロジェクト理念-

「遠隔地」で情報技術を用いることで生まれる、新たな設計手法を探るプロジェクトである。
 コンクリートのシェルが、屋久島口永良部島（やくしまくちのえらぶじま）で2016年の夏
 2017年の夏にはさらにバージョンアップされたシェルが一棟建設された。

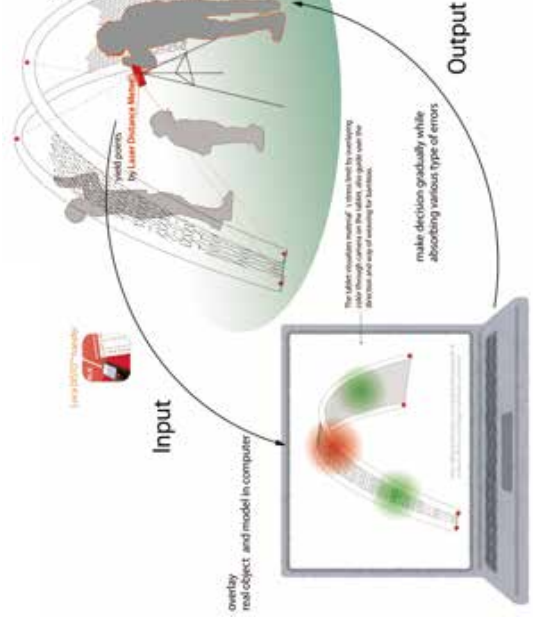


2.Problem and Resolution - 問題点と解決



離島では物の「輸送」が困難である。よって、現地にある自然素材を用いて、手作業で建築した手段をとっている。また、敷地は2015年に噴火を起こした火山島でもある。他にもあったと考えると考えられるため、強度が期待できる「竹筋コンクリート」という構造体を採用して

3.Digital Construction Support Sys





Kuchinoerabu Island Project 2018

- Bamboo concrete shell No.3 - 実験体から使われるものへ -

ように使うか-



だけでなく、他大学の他分野の学生たちが出入りし、そ
 ている。次の建設では、学生と島民が関わりあう場と
 の10月に3号機が建設予定である。

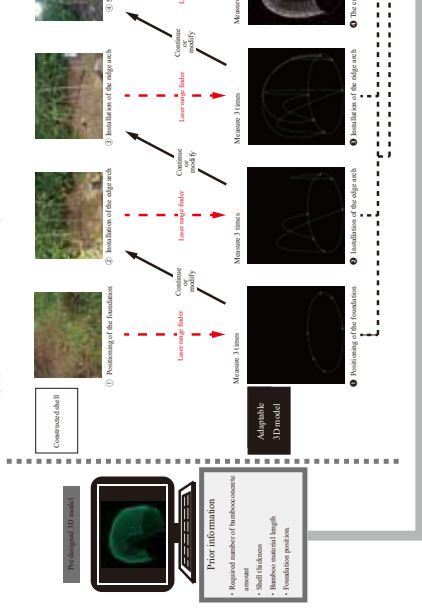


Kuchinoerabu Island Project 2018

- Bamboo concrete shell No.1 - 安全なもの



4. Technology that anyone can use



「誰
 テー
 情報
 を作
 施
 いて